

ストリングトレーサ測定データ管理ソフトウェア
データ変換ツール
《取扱説明書》

株式会社 戸上電機製作所

【目 次】

1.	概要	1
2.	動作環境	1
3.	注意事項	1
4.	機能	1
5.	画面展開と操作・機能	2
5. 1.	DBデータ書出しツール画面	2
5. 1. 1.	DBデータ書き出し操作手順	3
	(1) Ver1のインストール先の指定	3
	(2) DBデータの書き出し先の指定	4
	(3) DBデータ書き出し処理の実行	5
5. 2.	リスト追加ツール画面	7
5. 2. 1.	リスト追加操作手順	8
	(1) Ver1データの出力先の指定	8
	(2) Ver2のインストール先の指定	9
	(3) リスト追加処理の実行	10
5. 3.	共通ダイアログボックス	11
5. 3. 1.	フォルダ選択ダイアログ	11

1. 概要

「ストリングトレサ測定データ管理ソフトウェア・データ変換ツール」は、ストリングトレサで測定し、SDカードに保存したデータを管理するソフトウェアのVer1データベースのデータをCSV等で出力し、Ver2のデータリストに追加するソフトウェアです。

2. 動作環境

(1) 実行条件

① OS

- ・Microsoft Windows XP (32bit) SP3以上
- ・Microsoft Windows XP (64bit) SP2以上
- ・Microsoft Windows Vista (32bit) SP1以上
- ・Microsoft Windows 7 (32bit) 以上
- ・Microsoft Windows 7 (64bit) 以上

② 画面サイズ

600×600ピクセル以上

(2) 必要なソフトウェア

- ① Microsoft .NET Framework 3.5 SP1以上
- ② Microsoft SQL Server 2008 Express (DBデータ書き出しツールのみ)

3. 注意事項

- ① 実行の際は、管理者 (Administrator) 権限でログインしてください。(DBデータ書き出しツールのみ)

4. 機能

おおまかな機能は下記のとおりです。

(1) Ver1のデータベースよりデータを出力

- ① パネル情報
- ② パネルメーカー情報
- ③ 顧客情報
- ④ 測定データ

(2) Ver2のデータリストに追加

- ① パネル情報
- ② パネルメーカー情報
- ③ 顧客情報
- ④ 測定データ

5. 画面展開と操作・機能

5.1. DBデータ書き出しツール画面



- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ① 【Ver1のインストール先】 | : Ver1のインストール先を表示・入力します。 |
| ② 【Ver1のインストール先・参照】 ボタン | : フォルダ指定画面に移動します。 |
| ③ 【DBデータの書き出し先】 | : DBデータの書き出し先を表示・入力します。 |
| ④ 【DBデータの書き出し先・参照】 ボタン | : フォルダ指定画面に移動します。 |
| ⑤ 【DBデータ書き出し】 ボタン | : DBデータ書き出し確認画面に移動します。 |
| ⑥ 【終了】 ボタン | : プログラム終了 |

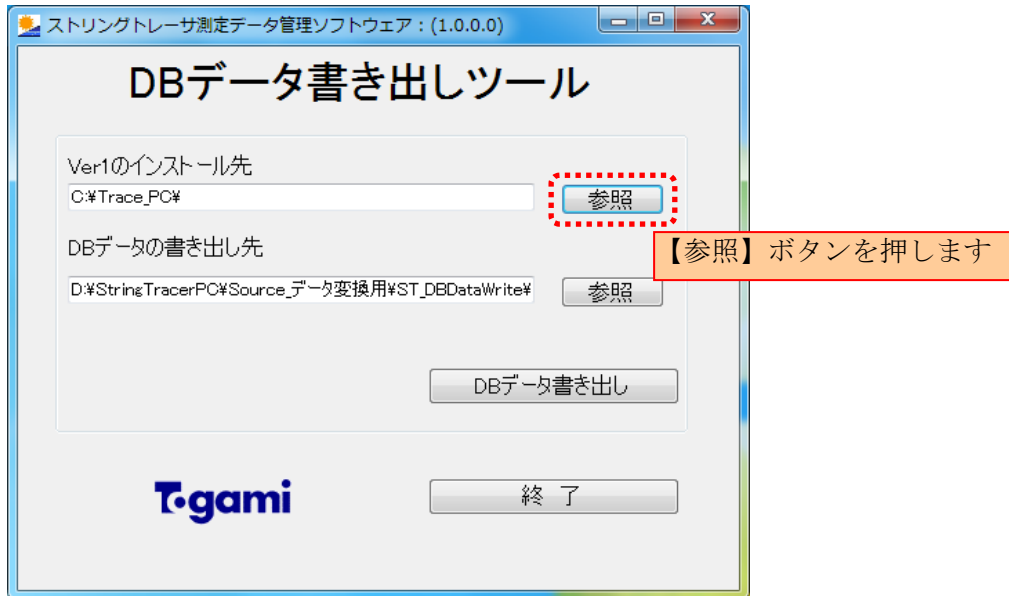
※起動には、「ST_DBDataWrite.exe」を実行します。

5.1.1. DBデータ書き出し操作手順

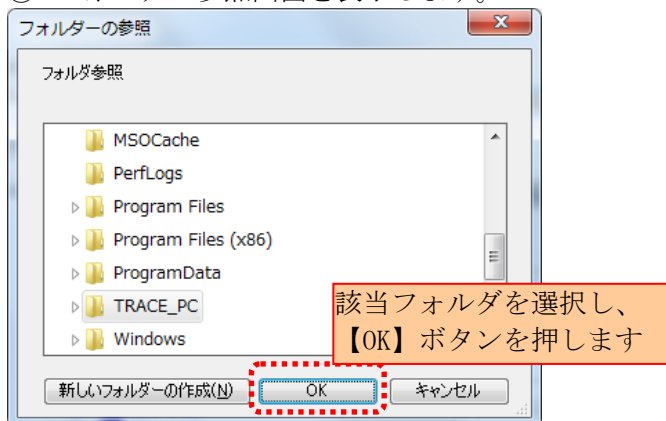
DBデータ書き出しでは、**エラー！参照元が見つかりません**。Ver1のインストール先と**エラー！参照元が見つかりません**。DBデータの書き出し先を指定します。

エラー！参照元が見つかりません。Ver1のインストール先の指定

① DBデータ書き出しツール画面を表示します。



② フォルダの参照画面を表示します。

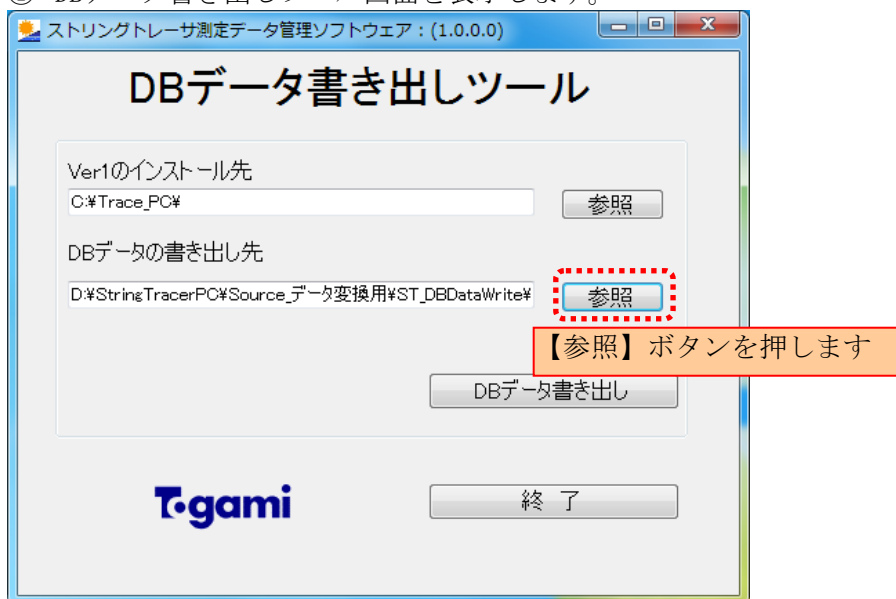


※ここで指定するフォルダは、以下の場所となります。

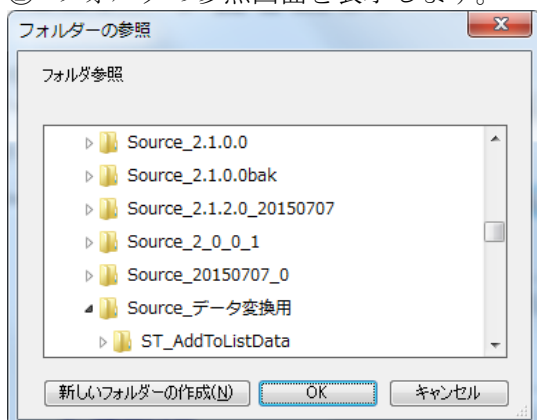
- ・デフォルトでは、「C:\¥TRECE_PC¥」
- ・Ver1をインストールする際に指定したフォルダ
参考：「指定するフォルダ」内「EXE」フォルダには、Ver1の実行ファイルがあります。

エラー！参照元が見つかりません。DBデータの書き出し先の指定

① DBデータ書き出しツール画面を表示します。



② フォルダの参照画面を表示します。

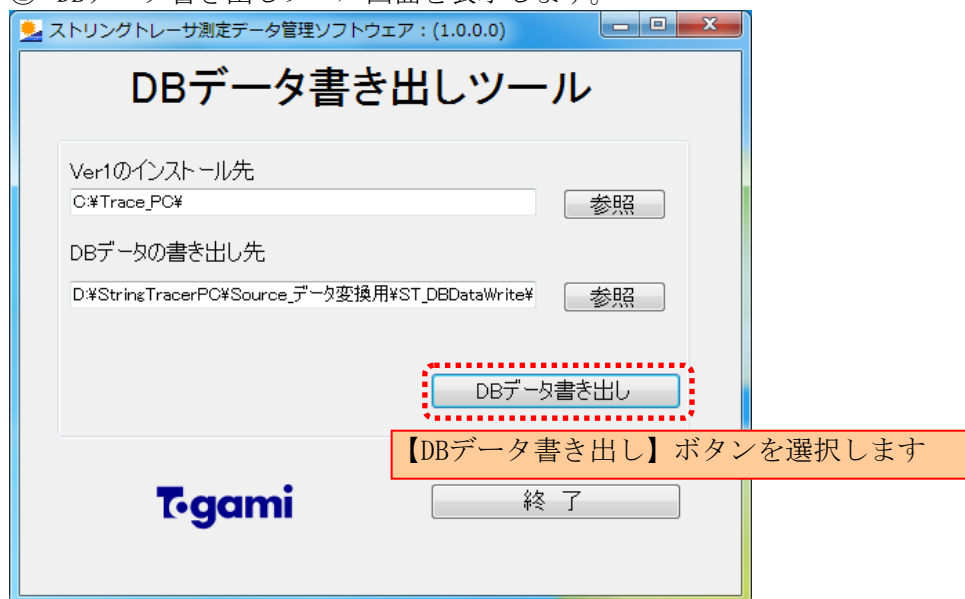


※ここで指定するフォルダは、以下の場所となります。

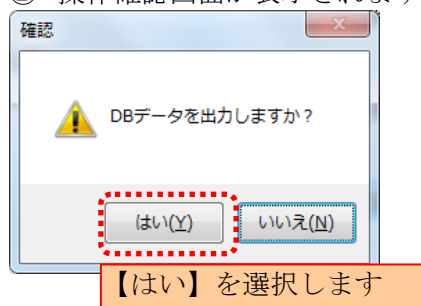
- ・デフォルトでは、「ツールの保存先の上位フォルダ¥OUTDATA」
- ・Ver1のDBデータを出力するフォルダ

エラー！参照元が見つかりません。DBデータ書き出し処理の実行

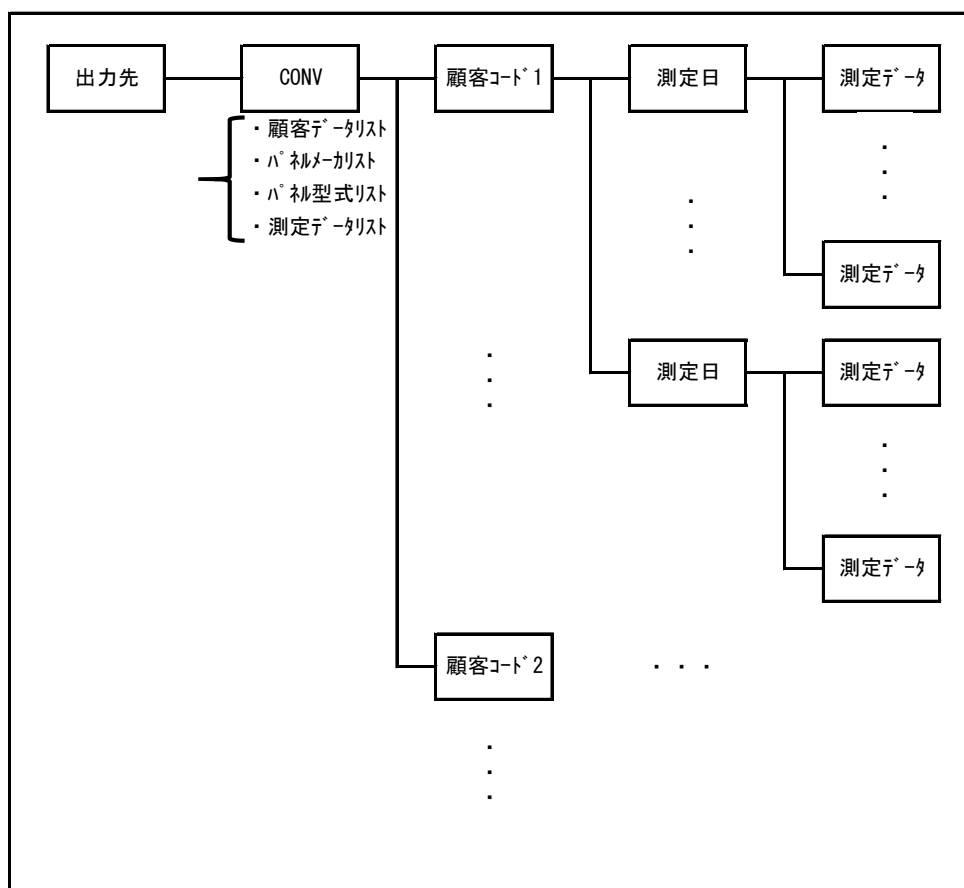
① DBデータ書き出しツール画面を表示します。



② 操作確認画面が表示されます。



○出力フォルダ構成



5.2. リスト追加ツール画面



- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ① 【Ver1データの出力先】 | : Ver1データの出力先を表示・入力します。 |
| ② 【Ver1データの出力先・参照】 ボタン | : フォルダ指定画面に移動します。 |
| ③ 【Ver2のインストール先】 | : Ver2のインストール先を表示・入力します。 |
| ④ 【Ver2のインストール先・参照】 ボタン | : フォルダ指定画面に移動します。 |
| ⑤ 【リスト追加】 ボタン | : リスト追加確認画面に移動します。 |
| ⑥ 【終了】 ボタン | : プログラム終了 |

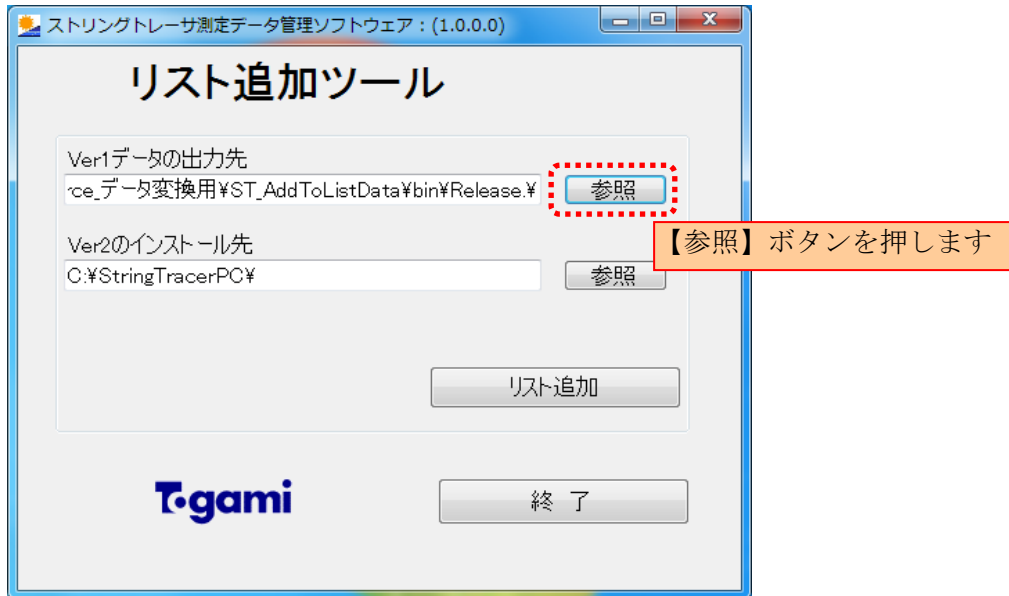
※起動には、「ST_AddToListData.exe」を実行します。

5.2.1. リスト追加操作手順

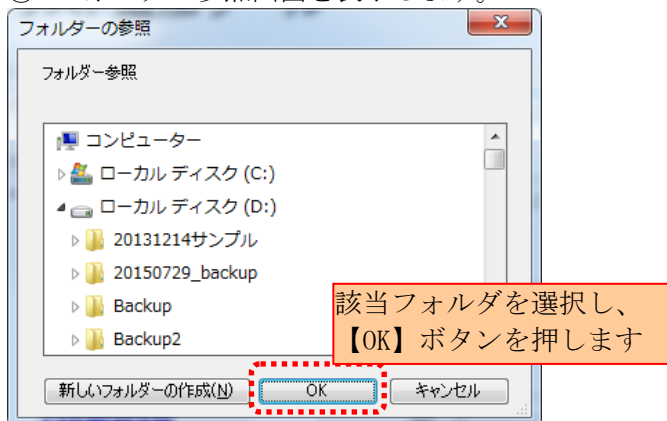
リスト追加では、エラー！参照元が見つかりません。Ver1データの出力先とエラー！参照元が見つかりません。Ver2のインストール先を指定します。

エラー！参照元が見つかりません。Ver1データの出力先の指定

③ リスト追加ツール画面を表示します。



④ フォルダの参照画面を表示します。

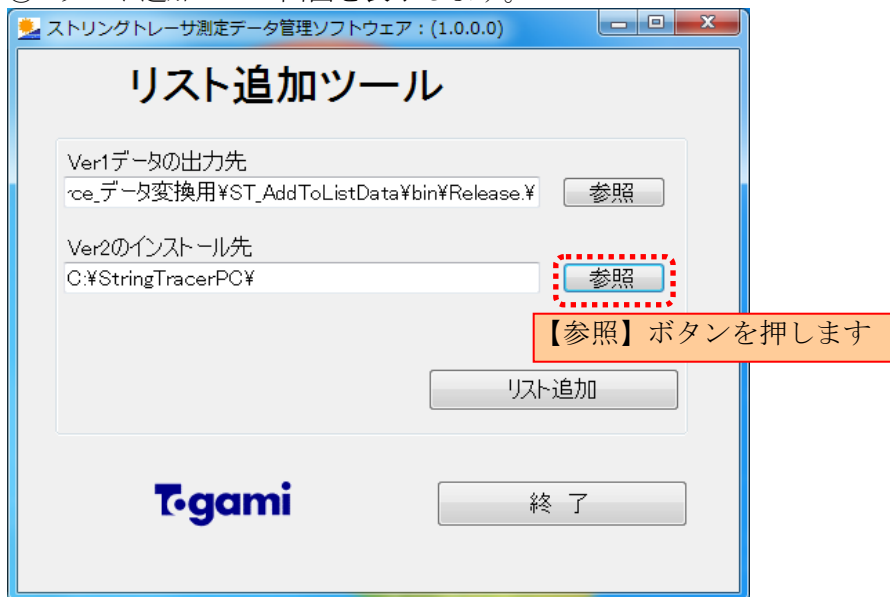


※ここで指定するフォルダは、以下の場所となります。

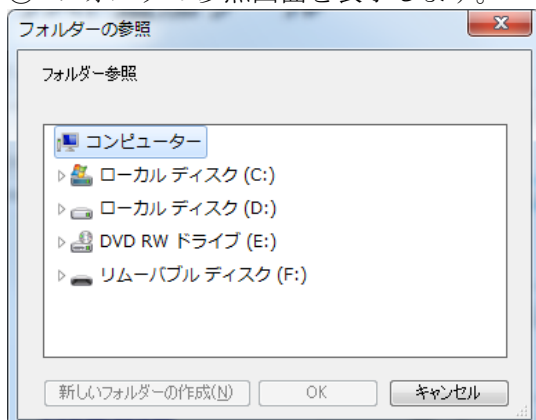
- ・デフォルトでは、「ツールの保存先の上位フォルダ¥OUTDATA」
- ・Ver1のDBデータを出力したフォルダ

エラー! 参照元が見つかりません。Ver2のインストール先の指定

③ リスト追加ツール画面を表示します。



④ フォルダの参照画面を表示します。

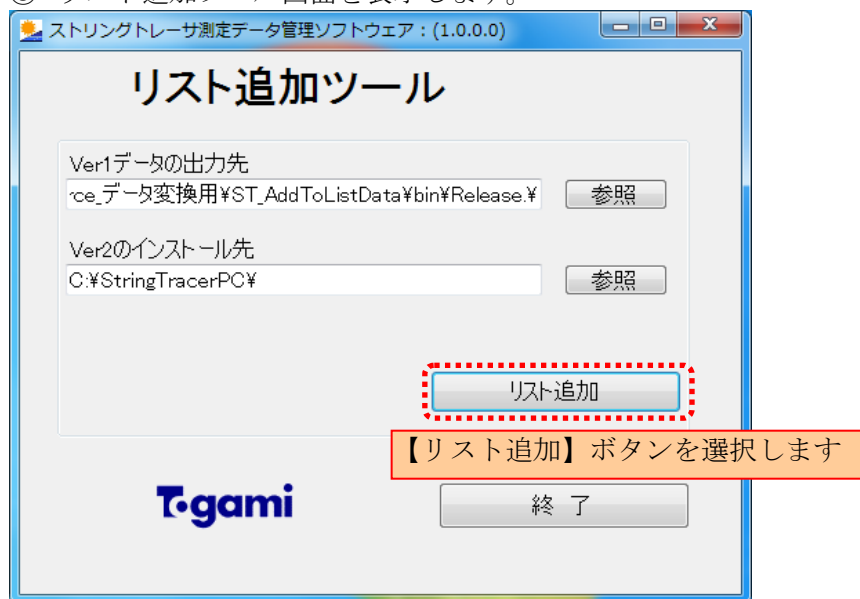


※ここで指定するフォルダは、以下の場所となります。

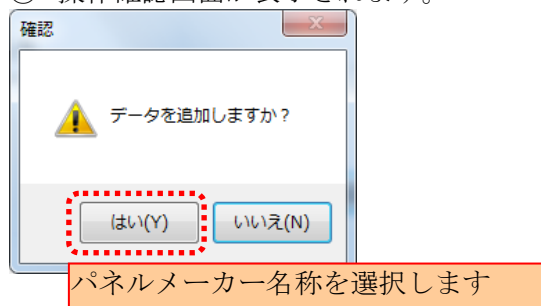
- ・デフォルトでは、「C:¥StringTracerPC¥」
- ・Ver2をインストールしたフォルダ
参考：「指定するフォルダ」内「EXE」フォルダには、Ver2の実行ファイルがあります。

エラー！参照元が見つかりません。リスト追加処理の実行

③ リスト追加ツール画面を表示します。



④ 操作確認画面が表示されます。



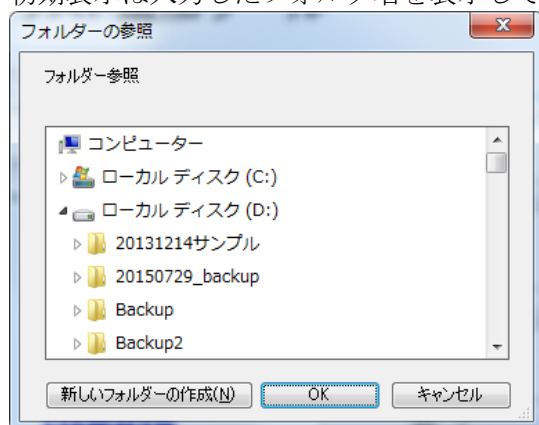
5.3. 共通ダイアログボックス

ダイアログボックスには、フォルダ選択ダイアログがあります。

5.3.1. フォルダ選択ダイアログ

フォルダ選択ダイアログは、
各フォルダ指定時
で使します。

初期表示は入力したフォルダ名を表示しています。



入力したフォルダが無い場合は以下の表示をしています。

